

令和2年度第2回遠野市総合計画審議会報告資料

# 主要な施策等の取組状況について

- |   |                               |    |
|---|-------------------------------|----|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症対策について            | 1  |
| 2 | 株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）の概要について | 12 |
| 3 | 令和2年度市長と語ろう会（分野別）の開催状況について    | 19 |

令和2年8月6日

遠野市総務企画部政策担当

# 1 新型コロナウイルス感染症対策について

## 報告の趣旨

【担当：総務企画部 新型コロナウイルス対策室】

新型コロナウイルス感染症の世界的まん延により、当市にも大きな影響を及ぼしているところであるが、これまでの市の対策経過や市内への影響、今後の対策状況について報告する。

## 報告概要

### 1 感染症対策の方針（5月27日（水）～当面の間）

- ・外出の際の感染予防の徹底
- ・新しい生活様式の周知および実践
- ・イベント・集会等における感染防止対策の徹底
- ・施設等における感染防止対策の徹底

### 2 対策事業費

- (1) 予算総額 約32億3,714万円（第1・2・3弾）  
(2) 第3弾**新規事業** 約3億9,361万円（7月30日可決）

区分	予算額	主な対策
<b>【新】 感染予防 対策</b>	1億9,738万円 (全9事業)	ケーブルテレビFTTH化整備事業、高齢者等見守り体制構築事業、児童館等空調設備設置事業、予防接種等備品購入、避難所用感染症予防対策事業購入 ほか
<b>【新】 経済対策</b>	1億9,623万円 (全11事業)	外出支援タクシー助成券配布事業、わらすっこ応援臨時特別給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金、遠野わさび生産維持対策支援金、遠野牛地域一貫体制整備事業費補助金、商工業再生・持続化補助金、地元飲食業等応援事業費補助金、中心市街地活性化事業、新型コロナウイルス感染症常s飼つ観光推進補助金 ほか

【特別定額給付金給付状況： 給付済件数99.2%（7/31現在）】

### 3 花巻・遠野地域外来・検査センターの設置

- (1) **概要** 両市民の小学生以上が、かかりつけ医の紹介でPCR検査を受けることができる（ドライブスルー方式）  
(2) **開設日／開設場所**  
7月29日（木）、花巻市内（混乱を避けるため非公開）

### 4 観光分野への影響及び対策

- (1) R2.2～6月市内観光施設・宿泊施設の入込状況

	R2.2～6	前年同期	対前年比
観光施設	378,348人	651,288人	↓41.9% 減
宿泊施設	12,602人	21,438人	↓41.2% 減

- (2) **新たに中止が決定したイベント**  
わらすっこ祭り・消防フェア、遠野産業まつり など  
(3) **遠野市観光推進協議会等による取り組み**

ステップ1…感染防止策（第1号補正3,804千円）  
ステップ2…宿泊誘導策（第2号補正3,680千円）  
ステップ3…市内回遊策（第3号補正2,000千円）  
ステップ4…秋・来年度へ向け事業組立中

# 1. 新型コロナウイルス感染症対策に係る経過

日付	内容
2月21日～	「遠野市新型コロナウイルス対策連絡会議」設置（2/21） （合計11回開催、国・県・関係機関等の情報を共有）
13日	総務企画部内に「新型コロナウイルス対策室」を設置
16日	第1回遠野市新型コロナウイルス感染症対策連絡調整会議開催
17日～ 23日	2/17 市対策本部会議（第2回）／「遠野市基本方針」（4月17日～5月6日）等 /20 市対策本部会議（第3回）／関係団体等からの要望集約と事業化の確認 等 /21 市対策本部会議（第4回）／観光施設等の営業のあり方の検討 等 /23 市対策本部会議（第5回）／補正予算（第1号の確認）、特別定額給付金 等
24日	<b>市議会臨時会 第1号補正予算可決（新型コロナウイルス対策分 約27億5,437万円）</b>
4月27日	・新型コロナウイルス対策室内に特別定額給付金事業チームを設置 ・広報臨時号発行／市の基本方針、施設の利用制限、特別定額給付金 等
5月1日	・市対策本部会議（第6回）／業務継続計画、緊急時の対応等の再確認 等 ・特別定額給付金オンライン申請受付開始
4日	市対策本部会議（第7回）／国・県の補正予算への対応、地方創生臨時交付金 等
6日	市対策本部会議（第8回）／遠野市基本方針、施設運営のあり方を変更 等
11日	遠野市商工労働ワンストップ相談窓口設置
12日	特別定額給付金給付開始
15日～ 6月9日	5/15 市対策本部会議（第9回）／予防対策・経済対策の予算化、基本方針の延長 等 5/27 市対策本部会議（第10回）／基本方針の変更、施設運営のあり方変更 等 6/9 市対策本部会議（第11回）／PCR検査体制の構築、国・県の予算への対応 等
19日	<b>市議会6月定例会 第2号補正予算可決（新型コロナウイルス対策分 8,915万円）</b>
7月27日	市対策本部会議（第12回）／第1・2号補正予算の進捗状況、補正予算（第3号）、国・県の動向の確認 等
29日	・ <b>県内初の感染確認（盛岡市1名、宮古市1名）</b> ・花巻・遠野地域外来・検査センター設置
30日	・市対策本部会議（第13回）／県内感染例に関する情報共有、感染予防対策及び情報発信等の確認 等 ・ <b>市議会臨時会 第3号補正予算可決（新型コロナウイルス対策分 約3億9,361万円）</b>

**対策に係る会議実績**  
 ・連絡会議11回  
 ・本部会議13回  
 ・連絡調整会議1回

**議会説明・予算措置**  
 ・4/24臨時会  
 ・6月定例会  
 ・7/30臨時会

## 2. 感染予防対策

### 花巻・遠野地域外来・検査センターの設置について

#### ■ 目的（概略）

かかりつけ医の紹介でPCR検査を行う「花巻・遠野地域外来・検査センター」を、7月29日（水）から開設。センターは県の委託により花巻市が設置主体となり、花巻市、遠野市、花巻市医師会、遠野市医師会、中部保健所等が連携して運営する。

#### ■ 日 時 7月29日開設

※毎週水曜日・土曜日、13時30分から15時30分まで（祝祭日・年末年始、8月15日（土）を除く）

#### ■ 場 所 花巻市内（詳細は非公表）

#### ■ 対象者 花巻市・遠野市に在住する者で小学生以上の者

#### ■ 検査の流れ

- ① かかりつけ医に電話で相談し、医師の指示により受診、医師が必要と判断した場合、検査予約される。  
検査予約の締め切り：水曜日は当日の10時、土曜日は前日の17時
- ② 予約された日時・場所に自家用車で向かい、検査を受ける。**ドライブスルー方式**  
※検査は唾液によるPCR検査
- ③ 検査結果が出るまで2～3日は自宅で感染予防しながら待機。
- ④ 検査結果は電話と郵便で通知される。  
陽性：保健所から入院等の指示 陰性：症状に注意し自宅待機・不要不急の外出自粛を指示

#### ■ 遠野市の対応

花巻・遠野地域外来・検査センターは、花巻市内に設置し、対象とする人口規模も勘案して、花巻市・花巻市医師会が中心に対応するが、花巻市の人員体制も厳しいことから、**遠野市からも、月1回、保健師2名を派遣する。**

#### ■ 遠野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

県の例に準じて、一般職の職員が新型コロナウイルス感染症に対処するための作業（検体採取やその補助、患者等の移送、患者等への付添いなど）に従事した場合、特殊勤務手当の特例として「防疫作業手当」を支給できることとする。

### 3. 新型コロナウイルス対策事業費

第1弾

第2弾

第3弾

約**32億3,714万円** (全48事業)

新型コロナウイルス対策は、感染予防対策と経済対策の2本柱。国・県事業と連携しつつ、市民ニーズに即した独自施策も展開する。

	🛡️感染予防対策	¥ 経済対策	合計
第1弾	約2,129万円 (3事業)	約27億3,309万円 (13事業)	約27億5,438万円 (16事業)
第2弾	2,292万円 (3事業)	6,623万円 (9事業)	8,915万円 (12事業)
第3弾	約1億9,738万円 (9事業)	約1億9,623万円 (11事業)	約3億9,361万円 (20事業)
合計	2億4,159万円 (15事業)	約29億9,555万円 (33事業)	約32億3,714万円 (48事業)

### 3. 新規事業（第3号補正予算）

**第3弾**

(全20事業)  
約**3億9,361万円**

感染予防対策：約1億9,738万円

経済対策：約1億9,623万円

#### 感染予防対策 約1億9,738万円 (全9事業)

事業名	概要	予算額 (千円)
ケーブルテレビFTTH化整備事業	テレワークやオンライン授業等が円滑に行われるよう、ケーブルテレビのFTTH化（光化）による通信・放送環境の整備を進めるための実施設計を行う。※小友町と宮守町エリアを除く	106,634
高齢者等見守り体制構築事業	災害時避難行動個別計画の作成調査等を実施し、高齢者等が安心して暮らすことのできるまちづくりをより一層推進。	14,652
児童館等空調設備設置事業	児童館等へ空調設備を設置し、保健・衛生環境の充実を図る。	12,253
元気わらすっこセンター感染症予防対策事業	サーモグラフィ検温器を導入し、感染予防を徹底。	1,067
保育施設等衛生環境整備・感染症対策事業	保育施設等で使用する感染症予防対策の物品等を購入。	10,889
予防接種等備品購入	サーモグラフィ検温器を導入し、感染予防の徹底を図る。	335
市営助産院感染症予防対策事業	通信ネットワーク対応型「4D超音波画像診断装置」を導入し新型コロナウイルスの影響下においても母子の安全安心を守る。	19,250
避難所用感染症予防対策事業購入	避難所等における感染予防対策を講じるための間仕切り用簡易テント、簡易ベッド、プライベートルーム等を購入。	18,139
小中学校消耗品・備品購入	小中学校における感染予防・学習保障に係る備品等を整備。	14,163

### 3. 新規事業（第3号補正予算）

## ¥ 経済対策 約1億9,623万円(全11事業)

事業名	概要	予算額（千円）
外出支援タクシー助成券配布事業	高齢者のみの世帯に8,000円分の助成券を配布。	20,000
わらすっこ応援臨時特別給付金	特別定額給付金対象外の令和2年4月28日～翌年3月31日に生まれた子の保護者に給付金を10万円支給。	10,000
ひとり親世帯臨時特別給付金	○国事業…①基本給付（児童扶養手当対象ひとり親世帯5万円、第2子以降一人につき3万円）②追加給付（収入減少世帯に5万円） ○市独自事業…国の支援対象外となる令和2年6月1日～翌年3月31日にひとり親になった世帯に①と同額を支給	31,086
新規雇用創出事業費補助金	令和2年6月1日から来年3月31日までに新規雇用した企業に補助金（1人あたり基本給2か月分 ※上限30万円）を交付。	15,000
遠野わさび生産維持対策支援金	次期生産に向けた水わさび圃場の収穫、清掃、苗植え作業に係る掛かり増し経費を支援（労働者1人あたり6,400円）。	5,376
遠野牛地域一貫体制整備事業費補助金	市内で生産された黒毛和牛子牛を肥育用素牛（肉用牛）として保留又は導入した経費に対し、1頭あたり5万円交付。	5,000
主要畜産品目生産基盤拡大推進事業費補助金	和牛（黒毛、短角等）、農用馬の繁殖雌牛の増頭に補助金を交付（牛10万円以内、馬30万円以内）。	16,500
商工業再生・持続化補助金	中小企業の生産性向上や感染症予防対策に係る設備投資に対して補助金を交付（2/10以内、上限1,500万円）。	60,000
中心市街地活性化事業	①買い物バス運行事業、店舗魅力アップ事業に補助金を交付 ②中心市街地活性化施設の安全衛生対策工事を実施	11,469
地元飲食業等応援事業費補助金	遠野商工会が行うキャンペーン（地元飲食業等利用による抽選応募券の発行など）の実施を支援。	1,800
新型コロナウイルス感染症対策観光推進補助金	遠野市観光推進協議会の事業実施（宿泊者への各種クーポン等配布など）を支援。	20,000



## 4. 事業の進捗状況（第1・2号補正予算）

※全事業着手済み

		事業	進捗状況（7/22現在）	予算額（千円）
+	第1弾	観光施設への感染症予防物品の配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク15,000枚、手指消毒液300本購入済み。</li> <li>・1回目（5月末～6月上旬）及び2回目（夏季）配布終了見込み。以降、順次配布予定。</li> <li>・その他物品は調達に向け対応済み</li> </ul>	3,804
		感染者発生時消毒作業助成金	※感染者なし	
		小中学校配布用衛生用品等の購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク28,000枚調達済み。随時配布</li> <li>・その他物品（消毒液、石鹼等）は配布済み</li> </ul>	3,109
		小中学校緊急連絡用メール配信システム導入	・7月より運用開始済み	
		図書消毒機配置	・6月17日使用開始済み	2,227
		避難所等設置用衛生用品等の購入	・マスク63,000枚、消毒液500本（1ℓ）購入済み。全行政区に配布済み	11,235
		広報遠野 臨時号発行	・臨時号発行（4/27）等	911
+	第2弾	子育て施設ヘルパー派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/13より開始。28施設中27施設へ計37回派遣済み。7月中は計63回の派遣を予定</li> <li>・今後各施設へ1・2週に1回のペースで派遣を継続</li> </ul>	2,360
		体温測定専用サーモグラフィカメラ購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ4台発注済</li> <li>・早期運用開始に向け準備中</li> </ul>	18,363
		救急隊員用感染防護衣・消毒用資機材購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローブ、マスク：各100箱発注済</li> <li>・消毒用アルコール等：30本納品済</li> <li>・感染防護衣セット：250組契約処理中</li> </ul>	2,197



## 4. 事業の進捗状況（第1・2号補正予算）

※全事業着手済み

		事業	進捗状況（7/22現在）	予算額（千円）
¥ 経済対策	第1弾	特別定額給付金	・ 給付率98.9%（給付済み額26億1,560万円）。 ・ 関係課連携の上、未申請114世帯に勧奨通知済み	2,668,878
		子育て世代への臨時特別給付金	対象1,357世帯へ5/29通知発送。6/17振込済。	28,283
		雇用調整助成金追加助成	国の拡充(10/10)に伴い事業見直し	3,000
		中小企業等事業継続家賃補助金（4～6月）	申請受付実績：62件 補助決定額：550万円	11,000
		六次産業チャレンジ応援事業費補助金	申請：6件 交付補助額：300万円	3,000
		休業支援職業能力向上研修業務委託	5/22契約済み。遠野市職業訓練協会に委託し、8/1から延べ8回開催	3,000
		遠隔就業マッチングシステム構築業務委託	5/22契約済み。8/8 いわて就職マッチングフェアから本格的に活用	1,800
		商工労働ワンストップ相談窓口設置	国の拡充(10/10)に伴い事業見直し	300
		生活関連サービス向上支援事業費補助金	申請受付実績：62件 補助決定額：550万円	4,000
		奨学資金貸付金（奨学生追加募集）	新規申込者：0件	2,200
		学校臨時休業対策（給食費等返還・補償）	5月19・20日に返還済み。補償金は6/5支払済。	625
		新型コロナウイルス感染生産者事業継続支援給付金	※感染者なし	6,000
		新型コロナウイルス感染施設園芸農家見舞金		1,000
第2弾	高齢者等生活物資供給支援	8/4に委託契約後、8月中の物品配布等を予定。	14,850	
	馬産地遠野活性化支援事業費補助金	遠野市畜産振興公社と事業実施に向けた協議中。	3,200	
	ビールの里づくり協議会負担金	ビジョンブック・ポストカード作製済 ビールの里WEBサイト作成中。	2,500	
	中小企業等事業資金緊急対策費補助金	8/12金融懇談会で金融機関との調整後、8月中に要綱制定の予定	14,000	
	中小企業事業継続家賃補助金（7～12月）	7月中に要綱を一部改正（補助率1/4）。8月に既承認事業者に通知の予定	20,000	
	商工業総合相談機能の充実	7/13～会計年度任用職員1名任用	2,000	
	消費喚起支援事業費補助金	遠野すずらん振興協同組合 6/22交付決定済み。6/27～商品券販売開始	6,000	
プレミアム市内宿泊交通利用券	で・くらす遠野HP等で周知済み。7/10 PRチラシ約850枚発送。 宿泊交通利用券申込者11名。（のんびり会員2名、どっぷり会員9名）	1,180		
で・くらす遠野ホームページリニューアル	8/17 プローポーザル方式により委託事業者決定。8月下旬契約予定。	2,500		

## 5. 観光分野への影響と取り組み

### (1) 観光・宿泊施設入込状況（2～6月比較）

【単位:人】

#### ア 全体

「概要」

**全体で約4割減**

- ・ 2月から新型コロナの影響出始め
- ・ 両施設とも約4割減

施設	本年	前年	対前年比	
観光施設	378,348	651,288	-272,940	-41.9%
宿泊施設	12,602	21,438	-8,836	-41.2%

#### イ 観光施設(月毎)

「概要」

**3月から減傾向・6月約3割減**

- ・ 3月から新型コロナの影響出始め
- ・ 5月は休業により約7割減
- ・ 6/19越県観光制限解除
- ・ 前年数値まで戻っていない

【単位:人】

年	2月	3月	4月	5月	6月
本年	65,671	106,710	53,505	59,454	93,008
前年	65,345	131,366	142,861	179,835	131,881
対前年比	326	-24,656	-89,356	-120,381	-38,873
	0.5%	-18.8%	-62.5%	-66.9%	-29.5%

#### ウ 宿泊施設(月毎)

「概要」

**2月から減傾向・6月約4割減**

- ・ 2月から新型コロナの影響が
- ・ 5月は休業により約7割減
- ・ 6/19越県観光制限解除
- ・ 前年数値まで戻っていない

【単位:人】

年	2月	3月	4月	5月	6月
本年	4,156	4,389	2,203	1,854	3,183
前年	4,741	5,298	5,553	5,846	5,470
対前年比	-585	-909	-3,350	-3,992	-2,287
	-12.3%	-17.2%	-60.3%	-68.3%	-41.8%

# 5. 観光分野への影響と取り組み

## (2) 主要イベントの中止等

感染拡大防止などの観点から主要イベントの中止や縮小実施、延期等の検討が進んでおり、観光客等の入込減少に拍車をかけている。

政府は緊急事態宣言解除後の移行期間において、段階的緩和の目安を示しており、状況が改善された場合は、一定条件を満たすことでイベント等の開催が可能となる。ただし、感染拡大の第2波が懸念される為、慎重な判断と感染防止対策の徹底が求められる。

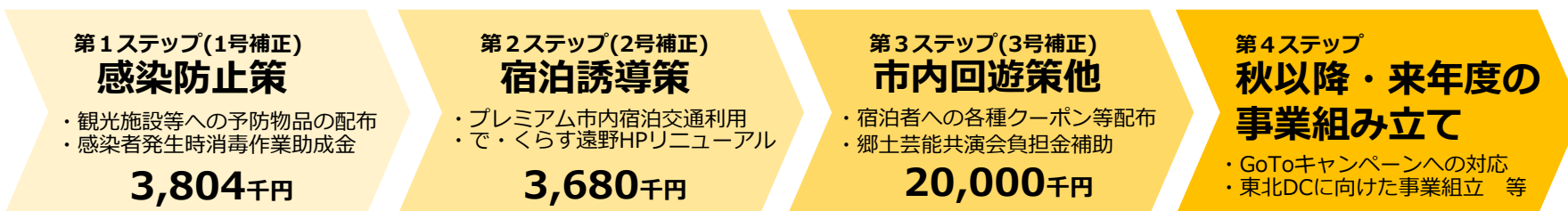
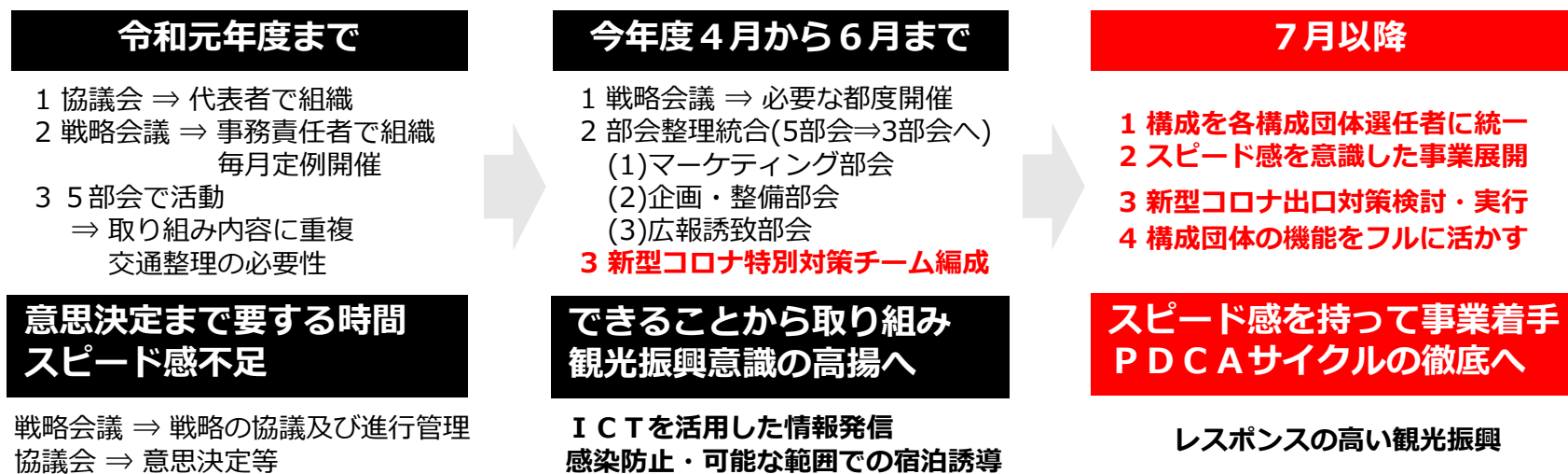
イベント名	対応
遠野さくら祭り（4月18日～5月6日）	中止 ※鍋倉公園の提灯設置のみ実施
JR釜石線SL銀河運行	4月18日～5月17日は中止 ※7月18日より運行再開
町民運動会（6月7日）	中止
遠野市緑化祭「里山フェスタ2020」（6月13日）	縮小 ※関係者のみの植樹
国定公園早池峰山山開き（6月14日）	中止 ※交通規制は例年通り
東北馬力大会馬の里遠野大会（6月28日）	中止
全国やぶさめ競技遠野大会（7月19日）	中止
遠野納涼花火まつり（8月15日）	中止
遠野ホップ収穫祭（8月22・23日）	中止 ※代替イベント等を計画中
遠野わらすっこまつり・消防フェア（9月6日）	中止
日本のふるさ遠野まつり（9月19・20日）	中止 ※令和4年度に迎える「日本のふるさと 遠野まつり」50周年記念に向け、また、今年開催できなかった遠野まつりを少しでも感じてもらうため、特設サイトを開設する。
産業まつり（10月10・11日）	中止
躍進みやもり祭り（10月18日）	中止

# 5. 観光分野への影響と取り組み

## (3) 観光推進協議会の出口対策イメージ

### 「新」 遠野市観光推進協議会

- ★観光協会を中心とし構成団体がそれぞれの役割を踏まえたプレイヤーに徹する体制構築
- ★「ウイズコロナ」継続が想定され、貴重な来訪者をシェア(回遊)できる仕組みづくり
- ★観光施設×交通事業者、宿泊施設×飲食店等の他業種とのコラボ企画の造成



### 継続した情報発信

- ① 状況を読み取り ② 対策を講じ ③ スピード感を意識した展開

## 2 株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)の概要について

### 報告の趣旨

令和2年度第1回遠野市総合計画審議会で報告した「遠野ふるさと公社の経営改革」について、運営の中心となる「REVIC」の概要について詳細を報告する。

### 会社概要

#### 1 設立

2009年10月14日

〔株式会社企業再生支援機構〕

※2013年3月18日に現社名に商号変更

#### 2 資本金

131億380万円

#### 3 本社所在地

東京都千代田区大手町1丁目6番1号  
大手町ビル9階

#### 4 株主

預金保険機構、農林中央金庫

#### 5 役職員数

249名（2019年6月27日現在）

派遣社員を含む

#### 6 役員等

代表取締役社長 林 謙治

代表取締役専務 渡邊 准（ほか）

#### 7 子会社

REVICキャピタル株式会社

REVICパートナーズ株式会社

株式会社日本人材機構

#### 8 沿革

REVICは、2008年秋以降の金融経済情勢の急速かつ大幅な悪化等を受けて、我が国の地域経済が低迷を余儀なくされる中、地域経済の再建を図るため、有用な経営資源を有しながら、過大な債務を負っている事業者の事業再生を支援することを目的に、「株式会社企業再生支援機構法」に基づき、2009年10月に株式会社企業再生支援機構として設立されました。

（地域経済活性化支援機構HPより一部抜粋）

### これまでの実績

（2019年12月31日現在）

	業務	総計	内訳	
人材支援	特定専門家派遣業務 (決定件数/決定日基準)	197件	地銀向け	75件
			信金・信組向け	54件
			その他	68件
成長支援	活性化ファンド業務 (ファンド組成・運営：組成件数/組成日基準) (LP出資：契約件数/契約日基準)	36件	活性化ファンド組成・運営	36件
			27件	LP出資
再チャレンジ支援	特定支援業務 (決定件数/決定日基準)	112件	公表案件	0件
			非公表案件	112件
再生支援	事業再生支援業務※ (決定件数/決定日基準)	111件	公表案件	68件
			非公表案件	43件
	事業再生ファンド業務 (ファンド組成・運営：組成件数/組成日基準)	6件	事業再生ファンド組成・運営	6件

※前身の企業再生支援機構の実績を含む。

# 1 事業運営の基本方針

## 1. 先導的な地域活性化・事業再生モデルの創造

個別事業者の再生のみならず、地域産業や企業グループ等の一体的再生や業態変革・業界再編等も視野に入れ、官民の英知を結集し成功事例を創出することで、経済の新陳代謝と活性化に資する先導的なモデルの創造に取り組みます。

既存観光活性化ファンドにより、観光DMOに関するモデル作りはほぼ完了  
(新ファンドによる観光政策への貢献が強く求められている)

## 2. 地域活性化・事業再生ノウハウの蓄積と浸透

REVICが持つ多様な枠組み・機能や他の支援機関との連携等により、地域活性化・事業再生ノウハウの全国的な蓄積と浸透を図ることを通じて、地域において自律的かつ持続的に地域活性化・事業再生が行われるよう、触媒としての役割を果たします。

観光DMO等に関するノウハウも蓄積されたことから地域への浸透が求められている

## 3. 専門人材の確保と育成及び地域への還流

地域活性化・事業再生に不可欠な専門人材と経営人材の確保と育成を図るとともに、地域にこうした人材を還流させる機能を果たします。

観光DMO等に関するノウハウを活用して、確たる実績が期待できる地域の観光DMO等に対して、ノウハウ移転を進め地域に還流



## 2 観光をテーマにしたファンド一覧（令和2年4月7日現在）

	ファンド名称	設立年月	組成額	出資金融機関	投資事例
1	観光活性化マザーファンド	2014年3月	52億円	日本政策投資銀行、リサ・パートナーズ	NOTEリノベーション&デザイン、Kiraku Japan、錦水館など
2	やまと観光活性化ファンド	2015年3月	1.5億円	大和信用金庫	桜井まちづくり(株)、(株)フクダ不動産
3	ALL信州観光活性化ファンド	2015年3月	12億円	八十二銀行始め長野県内に本店を有する全ての地域金融機関10行	WAKUWAKUやまのうち、志賀高原創生公社
4	しずおか観光活性化ファンド	2015年3月	13億円	静岡銀行及び県内地域金融機関6行、観光活性化MF	VILLAGE INC、(株)もちや、コナリゾート
5	佐賀観光活性化ファンド第1号	2015年7月	5億円	佐賀銀行はじめ佐賀県内に本店を有する全ての地域金融機関8行	有田まちづくり公社、STUDIO JIKI
6	ふくい観光活性化ファンド	2015年8月	3億円	福井銀行	(株)まちづくり小浜
7	千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド	2015年9月	5億円	京葉銀行、佐原信用金庫	NIPPONIA SAWARA
8	九州観光活性化ファンド	2015年10月	34億円	福岡銀行、熊本銀行、親和銀行、大分銀行、宮崎銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、観光活性化MF	(株)御花、(株)リバーサイド
9	高知県観光活性化ファンド	2015年10月	3億円	四国銀行	ものべみらい、香北ふるさと公社
10	かながわ観光活性化ファンド	2016年3月	10億円	横浜銀行	富士屋旅館合同会社
11	新ファンド 観光遺産産業化ファンド	2019年6月	30億円 (予定)	北洋銀行、岩手銀行、足利銀行、栃木銀行、山梨中央銀行、横浜銀行、静岡銀行、滋賀銀行、ゆうちょ銀行	投資未実行

参考事例



### 3 参考事例：まちづくり小浜(第3セクター経営改善)

ふくい観光活性化ファンドより投資

- 福井県小浜市のDMO会社として、観光を軸とした小浜市全域の活性化を実現するため、道の駅・海の駅・まちの駅の3駅周遊による観光活性化を目指す司令塔

【法人概要※】

法人名	株式会社 まちづくり小浜 (通称「おばま観光局」)
本社所在地	福井県小浜市
設立	平成22年
資本金	25百万円
主な事業内容	観光を軸とした地域活性化に資する事業全般
代表者	代表取締役 東 武雄 (小浜副市長)
職員数	8名 (社員8名)
特色	官民一体となった日本版DMOモデル

【事業内容例】

3駅周遊構想



本件の概要

- ファンド組成と同時に、小浜市、福井銀行、REVICの間で観光活性化に関する連携協定を締結。また、省庁の交付金を戦略的に活用し、官民一体での観光活性化を目指す
- 観光局は小浜市が過半を出資する3セク。道の駅やレストラン等の「収益事業」と、行政からのイベント、発信等の委託事業を中心とする「公益事業」の2つの収益源をもつ
- 投融資実行後も市の関与が残る意思決定プロセスを策定。また、公益事業について市と継続して協議するための外部委員会も設置する等、新ガバナンスを構築

- 小浜市が策定した中心市街地活性化基本計画(平成22年6月)で市内に「道の駅」「まちの駅」「海の駅」の3駅を設定し、これらを周遊するまちづくり計画を踏襲
- 観光局はエントランスである道の駅で情報発信。主要な観光資源が集中する「海の駅」(遊覧船や魚市場等)と「まちの駅」(芝居小屋や重伝建)へ誘導。エリアごとに体験プログラム等を企画、紹介
- 3駅周遊により市内滞在時間を延ばし、それに伴う観光消費額の増加を目指す

※概要情報は投資決定時点の資料データに拠る

## 4 「観光遺産産業化ファンド」について

### 「観光遺産産業化ファンド」とは

- 観光庁との連携により、下記の政府目標である地方へのインバウンド誘客や地域の観光消費額の増加を図る事を目的とし、REVICが2019年6月19日に新設した投資資金。
- 日本ならではの観光遺産（文化遺産、自然遺産）を活用する観光事業者に対し、出資及び経営人材の派遣等の支援を実施。
- 遠野市は、ふるさと村や遠野物語をはじめとする遠野の文化と自然が着目され、支援対象として選ばれた。

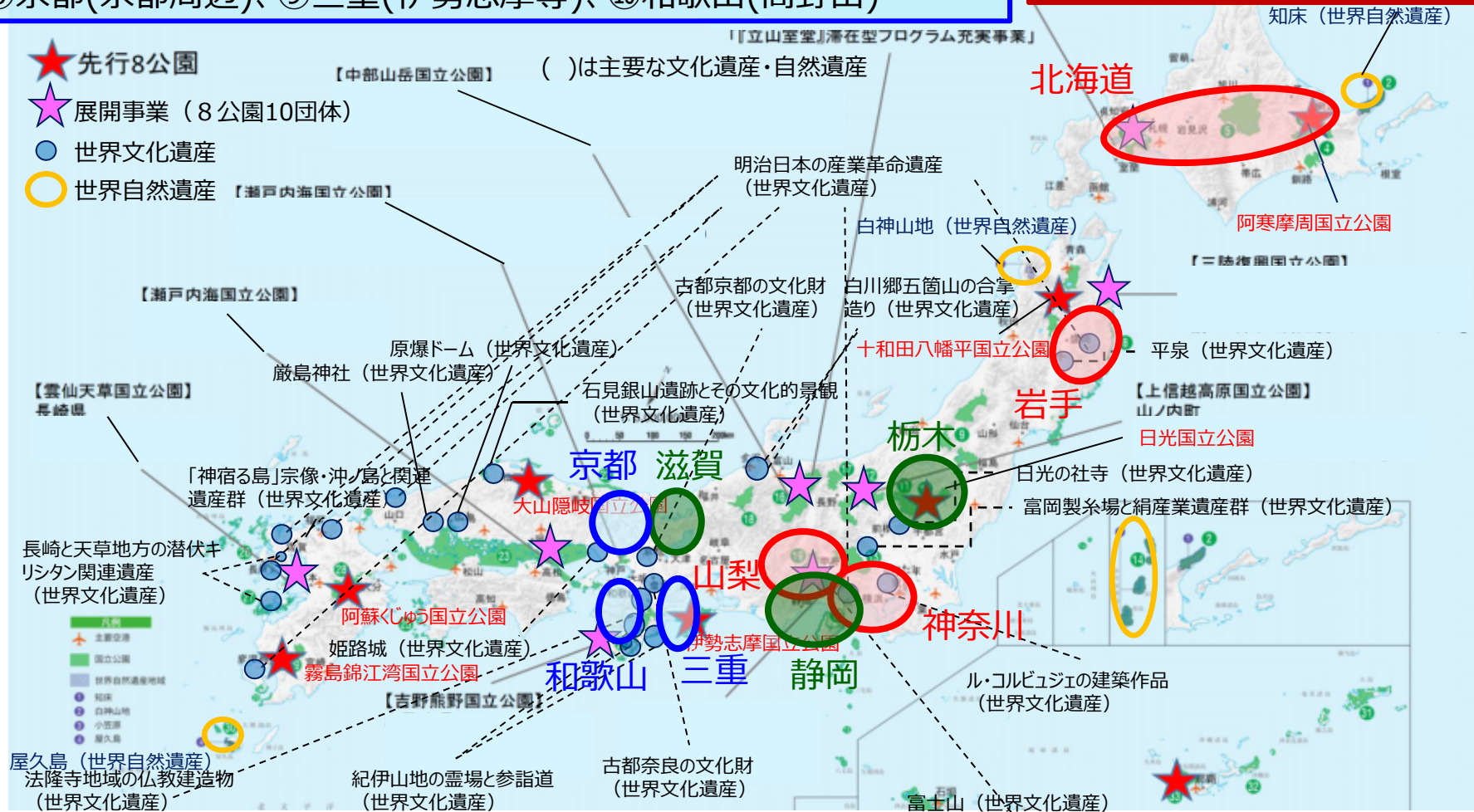
	2018年	2020年	2030年
<b>政府目標</b>			
外国人観光客数	3,119万人	→ <b>4,000万人</b> (1.28倍)	→ <b>6,000万人</b> (1.5倍)
外国人観光客消費額	4.5兆円	→ <b>8兆円</b> (1.78倍)	→ <b>15兆円</b> (1.88倍)

これまでは「見るだけ」だった文化財や世界遺産、国立公園を、「体験する・一緒に楽しむ」ものに変え、観光客に「**プラスアルファ**」のお金を地域に落としてもらうことにより、地域の活性化を図ることを目的としている。

# 5 観光遺産産業化ファンドの対象地域候補(案)

- ①北海道(阿寒摩周・函館等)、②岩手(平泉・遠野等)、
- ③神奈川(三浦半島・箱根等)、④山梨(富士山周辺・甲府エリア等)
- ⑤栃木(日光エリア等)、⑥静岡(伊豆・静岡全域)、⑦滋賀(比叡山)
- ⑧京都(京都周辺)、⑨三重(伊勢志摩等)、⑩和歌山(高野山)

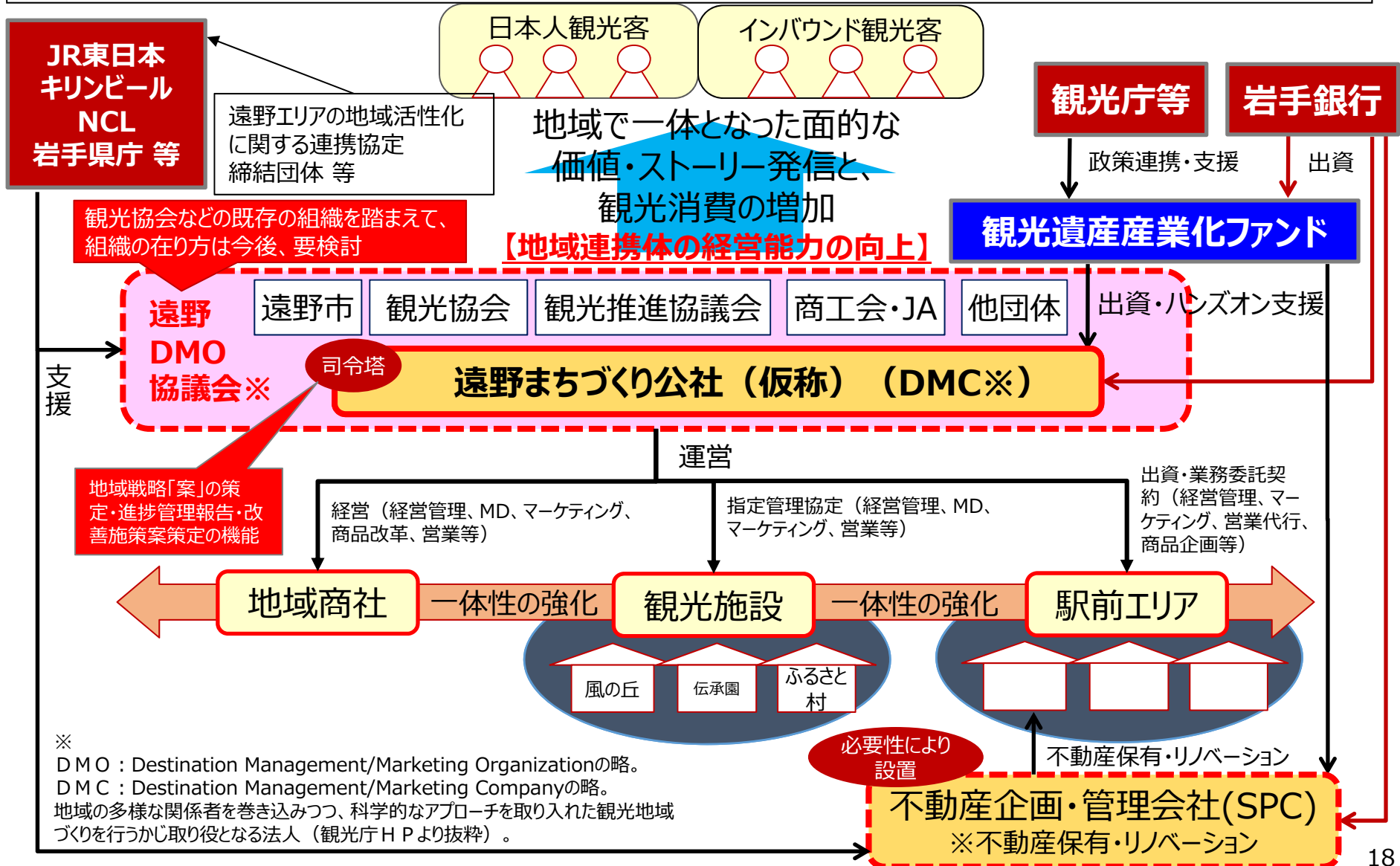
- 取組**確定**地域(6月時点)
- 取組**確定**地域(12月時点)
- 取組**候補**地域



※重点国立公園(環境省要望)、世界遺産(文化庁要望)をREVICがマッピング

## 6 参考)将来的な観光組織体制についての方向性

公社の経営改革を端緒とし遠野市の観光司令塔として観光協議会の組織化（DMO）、遠野市の観光活性化をはかる。





### 3 令和2年度市長と語ろう会(分野別)の開催状況について

#### 報告の趣旨

第2次遠野市総合計画後期基本計画の市民協働による計画策定の一環として、分野別の市長と語ろう会を開催し、意見・提言の提案を受けたことから、その結果を報告する。

【担当：総務企画部 政策担当】

#### 1 要旨

令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする、「第2次遠野市総合計画後期基本計画」の策定にあたり、市民協働による計画策定を目指しているところであるが、その一環として3分野を設定し、市内の高校生や青年層を対象とした市長と語ろう会を開催した。

#### 2 事業内容

(1) 名称 市長と語ろう会(分野別) ～支え合い、新たな時代を拓く世代と語る～

(2) 開催日・出席者・分野

日時	分野	参加者	参加者数
7/22	少子化対策・子育て分野	保育士、児童館指導員、小中高等学校教諭	8名
7/29	産業振興・雇用確保分野	1次産業(農林業)、2次産業(製造業、建設業)、3次(サービス業)産業	7名
7/21	次世代の遠野のリーダー分野	遠野緑峰高校生徒会・商業クラブ・農業クラブ 2年生	10名
7/28		遠野高校生徒会 1・2年生	11名

(3) 開催方法

各分野別に、テーマに基づき出席者から意見・提言をいただく形で進めた。  
主なテーマは、人口減少、産業の現状、地域づくり、まちづくりとした。

(4) 意見・提言内容

意見・提言総数 130

## (5) 主な意見・提言内容

区分	件数	主な意見
雇用確保対策	15	・ 1次産業の企業説明会への参画 ・ 起業支援の拡大
教育環境支援	13	・ 小中高間交流の拡大 ・ キャリア教育の地域連携
子育て支援	13	・ 子育て施設の充実 ・ 医療費助成の拡充
文化振興	13	・ 遠野物語継承の取り組み ・ 文化を継承する活動の拡大
観光振興	11	・ SNSを活用した情報発信 ・ 市民に対する遠野の魅力発信
まちづくり	11	・ 自然環境を生かしたまちづくり ・ PRの拡充
その他	54	・ 農業振興対策の拡充 ・ 医療環境の充実 ・ ネットワーク環境の高速化 ・ 小中校連携の拡大 ・ 企業連携による地域づくり人材の確保

## (6) 開催状況

